

2020年9月2日

一般社団法人竹芝エリアマネジメント
東急不動産株式会社
鹿島建設株式会社
株式会社アルベログランデ
株式会社世界貿易センタービルディング
野村不動産株式会社
一般社団法人竹芝タウンデザイン

浜松町・竹芝・芝浦エリアが 「東京ビジネスイベント先進エリア」に指定

一般社団法人竹芝エリアマネジメント^{※1}（所在地：東京都港区、代表理事：根津 登志之、以下「竹芝エリアマネジメント」）、株式会社世界貿易センタービルディング（本社：東京都港区、代表取締役社長：宮崎 親男、以下「世界貿易センタービルディング」）、野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮嶋 誠一、以下「野村不動産」）及び一般社団法人竹芝タウンデザイン^{※2}（所在地：東京都港区、代表理事：表 輝幸、以下「竹芝タウンデザイン」）は、4社で連携して公益財団法人東京観光財団が実施する東京ビジネスイベント先進エリア育成支援事業に応募し、この度、浜松町・竹芝・芝浦エリア（以下「当エリア」）が採択され、東京都より「東京ビジネスイベント先進エリア」に指定されたことをお知らせします。

今後、当エリアの活性化、知名度向上を目的に、関係企業・団体等と連携して MICE 誘致活動を推進します。

- ※1：東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）と鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：押味 至一）が共同で設立した事業会社である株式会社アルベログランデが開発した「東京ポートシティ竹芝」において、エリアマネジメントを推進する団体
- ※2：東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二）が開発した「ウォーターズ竹芝」において、エリアマネジメントを推進する団体

公募の結果の詳細は、以下 URL をご覧ください。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/09/02/14.html>

■「浜松町・竹芝・芝浦エリア」について

1. 背景

当エリア内では、多数の大型開発が進行中で、複数の事業者が連携して国際ビジネス拠点の形成を目指しています。当エリアが目指す MICE 事業は、都心型エリア MICE と呼ばれるものであり、都心部に多数集積する MICE 関連施設や魅力的な地域資産にさらに必要な機能を連携・充足し、地域全体で MICE 開催を誘致するものです。単独の施設では受け入れきれない様々な大型会議やイベントでも、エリア内の各施設が連携することで受け入れが可能となります。各施設の稼働率向上等をはじめとする当エリアへの高い経済効果に加え、エリアの魅力を高め、ブランド確立をすることも期待できます。こうした背景により、浜松町、竹芝、芝浦の3エリアが連携して MICE 誘致活動を推進することといたしました。

2. プロジェクトの概要

当エリア内にはデジタルコンテンツ、エネルギー、メディアなどの様々な企業や大学が集積しています。こうした地域ポテンシャルに加え、東京都心部エリア MICE ネットワークや、地区内の島嶼関連団体との連携体制も整っています。さらに空の玄関口となる羽田空港や都心からの近接性、伊豆・小笠原諸島への玄関口といった交通面でのアクセス性の良さと、寺社や庭園等の日本の魅力を体感できる歴史的・文化資源などを有します。こうした特性を最大限に生かした MICE 事業を展開し、当エリアにとどまらない東京の魅力の発信を目指します。

3. 推進体制

当エリアでまちづくり活動を行う、竹芝エリアマネジメント、世界貿易センタービルディング、野村不動産および竹芝タウンデザインが事務局機能を担い、関連企業・団体等と連携し、当エリアの魅力を活かすMICE 実践を目指します。

4. 連携イメージ

